

第 1 1 回蕨市中心市街地活性化協議会議事録

1. 日 時 平成 3 0 年 5 月 1 7 日 (木) 1 4 時～1 5 時

1. 会 場 蕨商工会館 2 階会議室

1. 出 席 者 牛窪 啓詞 川島 善徳 富田 喜一 川島 幸雄
植田 富美子 平田 道義 蓑毛 五夫 徳丸 平太郎

オブザーバー 小松 超 武田 茂 新保 恵子 田中 亮
西名 一樹

1. 議 長 牛窪 啓詞

1. 議 題

- 1 平成 2 9 年度蕨市中心市街地活性化基本計画 目標毎のフォローアップ結果について
- 2 蕨市中心市街地活性化基本計画 計画変更について
- 3 平成 3 0 年度行動目標 (案) について
- 4 「NEXT 商店街プロジェクト」 伴走型運営体制支援事業について

1. 議事の概要

定刻に至り、高橋事務局より、本日の出席者本人出席 8 名、委任状出席 6 名にて規約第 8 条第 2 項の定めるところにより、本日の蕨市中心市街地活性化協議会の議事は成立する旨を述べた。

続いて、牛窪会長の挨拶の後、牛窪会長が議長となり議長席につき開会を宣した。続いて、議事に入り、議長、議題 1 平成 2 9 年度蕨市中心市街地活性化基本計画目標毎のフォローアップ結果について並びに議題 2 蕨市中心市街地活性化基本計画計画変更については関連性があるため一括上程して良いかと会議に諮ったところ、全員異議なく、議長、議題 1 並びに議題 2 を一括上程、蕨市市民生活部小谷野次長より、資料をもとに空き店舗・低未利用地、休日の歩行者・自転車通行量等の数値目標に対する実績値について報告が行われた。引き続き、小谷野次長より計画変更について説明が行われ、事業期間が終了している、既存施設活用・魅力発信事業、わらびリンゴビジネス展開事業、ぶぎん通り逸品アピール事業、ワンデイシェフレストラン「ぷらっと」にぎわい強化事業の 4 事業について期間延長を行い、ぶぎん通り逸品アピール事業については「ぶぎんノスタルジックわく

わくフェス事業」に名称変更の計画変更手続きを行うとともに、新たに蕨駅西口地域で開催されるわらてつまつりを取り組み事業に追加し、同時期に開催される蕨駅東口地域におけるあさがお・ほおずき市の取り組みと合わせて「蕨駅東西口活性化事業（仮称）」として計画変更を行いたい旨説明し、また追加事業として市内各地を会場とする音楽イベント蕨市民音楽祭も明記する旨の説明を行った。ここで、議長より、議題1並びに議題2につき何か質問、意見はないかと会議に諮ったところ、植田委員より、中心市街地への市民意識調査における「商店街の活性化」の満足率が4.7%と非常に低く、市民にとっては市内よりもさいたま市、川口市、など近隣都市の方が魅力的に見えており、駅前の再開発事業など蕨の特色ある街づくりが求められているのではないかと意見が出された。続いて徳丸委員より、蕨駅周辺の再開発事業について進捗状況及び今後のスケジュール等について説明が行われた。続いて、蓑毛委員より、蕨駅の西口側と東口側の商店街同士の交流が少ないように感じる。もっと積極的に連携を取るべきではとの意見が出された。続いて川島（幸）委員より、塚越商店会では本年度、蕨市民公園で実施予定の蕨市民音楽祭に併せて末広公園でイベントを企画しており、本イベントを通じて西口の商店街と連携しつつ、東口と西口の住民の交流が図れるようにしていきたいと意見が出された。ここで、議長より議題1並びに2につき他に意見はないかと会議に諮ったところ、特に意見はなく、全員異議なく、承認された。

続いて、議長、議題3平成30年度行動目標についてを上程、本目標に掲げられた5つの重点事業の推進主体である、（社）蕨市にぎわいまちづくり連合会（以下まち連）茂木事務局長および関口事務局より、それぞれ事業の推進方法等について詳細な説明が行われた。ここで、議長より、議題3につき異議はないかと会議に諮ったところ、全員異議なく、原案通り可決承認された。

続いて、議長、議題4「NEXT商店街プロジェクト」伴走型運営体制支援事業についてを上程、関口事務局より、本事業は埼玉県が意欲の高い商店街に対して、集中支援を行うプロジェクトで、昨年度実施の埼玉県空き店舗ゼロプロジェクトの流れを組み、昨年度指定された4地域から本年度はさらに4地域を指定地域に追加、埼玉県が指定した商店街請負人と外部人材で構成される支援チーム（チーム寄添者）が商店街内外の人材を巻き込みながら集中支援し、次世代が誇りを持てる商店街（NEXT商店街）の実現を目指すための事業である旨の説明を行った。また当市は昨年度に引き続き県より指定地域として認定され、本年度は支援対象商店街を中心市街地エリアに属する2商店街から8商店街に拡大し、商店街の地域性を踏まえたゾーニングを行った中で、ビジョン策定を行う旨の説明を行った。その他の事業として円滑な事業の引き継ぎを目的に事業承継を希望する第三者が一定期間修行した後、事業を継承する「丁稚システム」をシステム化させるとともに、空き店舗の貸主と借主を引き合わせるマッチングサイトを制作し、空き店舗を減少させる事業を行う。また、外部専門家で構成された「チーム寄添者」を形成し、リノベーションによる空き店舗の再生を図るほか、ビジョンに基づいて

各ゾーンごとの特色あるソフト事業を行っていく旨説明を行った。ここで、議長より、議題4につき意見はないかと会議に諮ったところ、全員異議なく、承認された。

議長、以上をもって本日の蕨市中心市街地活性化協議会の議事日程を全部終了した旨を告げ閉会を宣した。以上、議事の経過要領及び結果を記載し、相違ないことを証する為ここに署名する。

平成30年5月17日

会 長 牛 窪 啓 詞

副会長 川 島 善 徳